

令和元年11月15日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

自転車、自転車用幼児座席、電動アシスト自転車に関する事故（リコール対象製品）について

（詳細は次頁以降参照。）

- | | |
|---|-----|
| 1. ガス機器・石油機器に関する事故
（うちガスコンビネーションレンジ（都市ガス用）1件） | 1件 |
| 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故
（うち電子レンジ1件、自転車2件、自転車用幼児座席1件、
電動アシスト自転車2件） | 6件 |
| 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故
（うち自転車用幼児座席1件、自転車4件、オーブントースター1件、
運動補助具1件、電動アシスト自転車3件、
リチウム電池内蔵充電器1件、テレビゲーム機1件、照明器具1件、
照明器具（卓上型、充電式）1件、エアコン（室外機）1件） | 15件 |
| 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、消費者庁製品事故情報検討会及び
消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会において、審議を予定して
いる案件
該当案件なし | |

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません（管理番号：A201800511、A201900021を除く。）。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 株式会社アキボウが輸入した自転車について（管理番号：A201900021）

① 事故事象について

株式会社アキボウ（法人番号：9120101000440）が輸入した自転車で走行中、前ホークが破断し、転倒、負傷する事故が発生しました。

当該事故の調査の結果、当該製品は、使用中に前ホークのクラウン部後方から亀裂が発生し、その後の継続使用により亀裂が前方に進展し、事故発生時に前方向へ一気に破断したものと推定されます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2018年（平成30年）10月9日にウェブサイトへ情報を掲載（2019年5月22日、対象モデル追加）し、対象製品について無償部品交換を実施しています。

③ 対象製品：リコール日、商品名、販売期間、対象台数

リコール日	商品名	販売期間	対象台数
2018年 10月9日	2011年～2012年モデル ABSOLUTE S 全カラー、全サイズ	2010年11月30日～	10,480
	2013年～2014年モデル PALETTE 全カラー、全サイズ		
2019年 5月22日 (追加)	2015年～2016年モデル PALETTE 全カラー、全サイズ		7,088
合計			17,568

2018年（平成30年）10月9日からリコール（無償部品交換）を実施
改修率：6.0%（2019年10月31日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2019年度	0	—	2014年度	0	—
2018年度	0	—	2013年度	0	—
2017年度	0	—	2012年度	0	—
2016年度	1	重傷	2011年度	0	—
2015年度	0	—	2010年度	0	—

※当該事故（管理番号：A201900021）は含まない。

<対象製品のシリアルナンバーと確認方法>

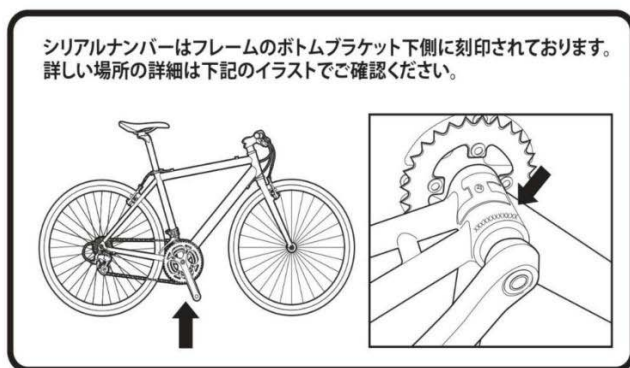
対象製品は、お持ちの保証書から下記リストの「車体No.」を御確認下さい。紛失等により保証書から御確認できない場合は、下図のボトムブラケットの下側に記載されているシリアルナンバーを御確認下さい。

下記リストの「製造コード」と「車体No.」を合わせた文字列が個別に与えられているシリアルナンバーとなり、車体に刻印されているシリアルナンバーが一致した場合、直ちに前ホークの交換をお願いします。

(シリアルナンバー)

	製造コード	車体No.
①	ICFJ11I	31549～32888
②	ICFJ11D	01549～07575
③	ICFU12G	09075～10579
④	ICFU12M	07198～07457
⑤	ICFU12O	04591～05485
⑥	FJ248IC	0001J～2500J
⑦	FJ023IC	0001J～0140J
⑧	FJ181IC	0846K～2145K
⑨	WBD335L	1391J～2920J
⑩	WBD019L0326K	

	製造コード	車体No.
⑪	WBD194L	0001K～2030K
⑫	WBD359L	0001K～2388K
⑬	WBDW59L1059K	
⑭	WBD056L0016L	
⑮	WBD056L	0302L～1835L
⑯	WBD088L	0001L～0889L
⑰	WBD089L0037L	
⑱	WBD091L	0033L～0940L
⑲	WBD132L	0001L～1200L
⑳	WBD132L8055L	



例えば、ボトムブラケット下部に
「ICFU12G09075」と刻印されている場合、左のリスト③の範囲に該当する為交換が必要な自転車となります。

④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償部品交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

株式会社アキボウ

電話番号：0120 (557) 144

受付時間：9時～12時、13時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<https://www.fujibikes.jp/pdf/20190527customers.pdf>

(2) ブリヂストンサイクル株式会社が輸入した自転車用幼児座席について
(管理番号：A201900784)

①事象について

幼児（6歳）をブリヂストンサイクル株式会社（法人番号：9030001041957）が輸入した自転車用幼児座席に乗せて自転車で走行中、右側足乗せ部が破損し、幼児の右足が後フックと後輪の間に巻き込まれ、負傷する事故が発生しました。

当該事故の原因は、使用中に繰り返される負荷により足乗せ部の取付部板が破損し、足乗せ部分が外れ、事故の発生に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2010年（平成22年）9月21日にプレスリリース、ウェブサイトへの情報掲載、翌22日に新聞社告を行い、その後、事業者のオンライン登録者へのメール発出、子育て中の女性向けウェブサイトへの広告の掲載、育児雑誌に広告を掲載し、現在も継続して、グループ会社を含めウェブサイトでの案内、製品（自転車、電動アシスト自転車）へのチラシ同梱を実施するなど、対象製品について無償製品交換を実施しています。

③対象製品：製品名、商品名、モデル名、対象台数

※対象製品の詳細（外観、確認方法等）は別添を御確認ください。

製品名	商品名	モデル名	対象台数
鉄製 自転車用 後席 幼児 座席 (リヤチャイルドシート)	NEWロイヤルチャイルドシート	RCSNRX. A	88,765
	ロイヤルチャイルドシートSTD	RCS-SRT	1,845
	NEWデラックスチャイルドシート	RCS-MH. A	13,582
	ロイヤルチャイルドシート	RCS-NAS	55,324
	ロイヤルチャイルドシート	RCS-SDX	171,150
	NEWロイヤルチャイルドシート	RCS-NRX	61,163
	デラックスチャイルドシート	RCS-MHBC	132,596
	デラックスチャイルドシート	RCS-MHB	6,031
	リヤ子供乗せ	RCS-MSG	13,480
	リヤ子供乗せ	KNR-69SG	23,172
	子ざぶとん専用チャイルドシート	RCS-K	687
	リヤチャイルドシート (ヤマハ発動機(株)ブランド)	Q5K-YSK-051	1,728
合 計			569,523

2010年（平成22年）9月21日からリコール（無償製品交換）を実施
改修率：50.0%（2019年10月31日時点）

④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償製品交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

ブリヂストンサイクル株式会社

電 話 番 号：0120(22)0355

受 付 時 間：9時～12時、13時～17時(土・日・祝日・事業者指定休日を除く。)

ウェブサイト：<https://www.bscycle.co.jp/topnews/childseat/index.html>

対象製品の詳細

商品名	NEW ロイヤル チャイルドシート	ロイヤルチャイルド シート STD	NEW デラックス チャイルドシート
モデル名	RCSNRX. A	RCS-SRT	RCS-MH. A
商品写真			
※識別ポイント	①ヘッドレスト形状 ②シートベルト ③ハンドル形状 ④股パッド	①楕円形(中央に布) ②Y型シートベルト ③アップハンドル型 ④股パッドあり	①ヘッドレスト無し ②T型シートベルト ③アップハンドル型 ④股パッドあり
販売期間	2007年11月～ 2010年5月	2008年5月～ 2010年6月	2008年3月～ 2010年6月
対象台数	88,765 個	1,845 個	13,582 個

商品名	ロイヤル チャイルドシート	ロイヤル チャイルドシート	NEW ロイヤル チャイルドシート
モデル名	RCS-NAS	RCS-SDX	RCS-NRX
商品写真			
※識別ポイント	①左右丸型 ②Y型シートベルト ③アップハンドル型 ④股パッドあり	①中央が凹んでいる ②X型シートベルト ③アップハンドル型 ④股パッド無し	①楕円形(中央に布) ②X型シートベルト ③アップハンドル型 ④股パッド無し
販売期間	2009年6月～ 2010年9月	2002年9月～ 2008年9月	2007年1月～ 2009年9月
対象台数	55,324 個	171,150 個	61,163 個

商品名	デラックス チャイルドシート	デラックス チャイルドシート	リヤ子供乗せ
モデル名	RCS-MHBC	RCS-MHB	RCS-MSG
商品写真	① ヘッドレスト ② シートベルト ③ ハンドル形状 ④ 股パッド ⑤ 股パッド ※識別ポイント ①ヘッドレスト形状 ②シートベルト ③ハンドル形状 ④股パッド ※その他(クッション柄)	① ② ③ ④ ※ ※識別ポイント ① 長方形 ② X型シートベルト ③ 一文字型ハンドル ④ 股パッド無し ※動物(犬)柄クッション	① ② ③ ④ ※ ※識別ポイント ① ヘッドレスト無し ② 2点式腰ベルト ③ 一文字型ハンドル ④ 股パッドなし ※シルバー色クッション BRIDGESTONE ロゴあり
販売期間	2000年2月～ 2009年11月	2000年2月～ 2008年3月	2000年3月～ 2009年8月
対象台数	132,596 個	6,031 個	13,480 個

商品名	リヤ子供乗せ	子ざぶとん専用 チャイルドシート	ヤマハ発動機ブランド リヤチャイルドシート (RCS-NAS と同型式)
モデル名	KNR-69SG	RCS-K	Q5K-YSK-051
商品写真	① ヘッドレスト ② シートベルト ③ ハンドル形状 ④ 股パッド ※識別ポイント ①ヘッドレスト形状 ②シートベルト ③ハンドル形状 ④股パッド ※その他	① ② ③ ④ ※ ※識別ポイント ① 長方形 ② X型シートベルト ③ 一文字型ハンドル ④ 股パッド無し ※クッション別売り	① ② ③ ④ ※ ※識別ポイント ①左右丸型 ②Y型シートベルト ③アップハンドル型 ④ 股パッドあり ※背面に YAMAHA ロゴ
販売期間	1995年4月～ 2006年4月	2003年4月～ 2007年10月	2009年7月～ 2010年9月
対象台数	23,172 個	687 個	1,728 個

(3)ブリヂストンサイクル株式会社が製造した電動アシスト自転車及び自転車について
(管理番号：A201900788、A201900794)

①事象について

ブリヂストンサイクル株式会社（法人番号：9030001041957）が製造した電動アシスト自転車及び自転車で走行中、ハンドルがロックし、転倒、負傷する事故が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、「一発二錠」(※)を搭載した電動アシスト自転車及び自転車で、ハンドルロックのケースの破損などが原因で錠が誤作動し、走行時にハンドル操作ができなくなるおそれがあります。

(※)「一発二錠」とは、ハンドルロック（前錠）と後輪錠（サークロック）を組み合わせた錠前システムで、後輪錠（サークロック）の施錠・開錠と連動してハンドルロック（前錠）も施錠・開錠する仕組みです。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2019年（令和元年）6月24日にプレスリリース、ウェブサイトへの情報掲載、翌25日に新聞社告を行い、対象製品について無償点検及び改修を実施しています。

また、消費者庁及び経済産業省では、ハンドルロック「一発二錠」を搭載した自転車及び電動アシスト自転車において、ハンドルロックケースの破損などが原因で誤作動し、ハンドル操作ができなくなり転倒するなどの事故が発生していることから、注意を喚起しています。

○消費者庁（令和元年6月24日）

ハンドルロック「一発二錠」のケースが破損していたらすぐに自転車の使用を中止してください！

※消費者安全法第38条第1項の規定に基づく公表

ウェブサイト：

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/release/2019/pdf/consumer_safety_release_190624_0001.pdf

○経済産業省（令和元年6月24日）

ハンドルロック「一発二錠」のケースが破損していたらすぐに自転車の使用を中止してください！

ウェブサイト：

<https://www.meti.go.jp/press/2019/06/20190624005/20190624005.html>

③対象製品：商品名、機種、型番、製造番号、製造期間、対象台数

商品名	機種、型番、製造番号	製造期間	対象台数
ハンドルロック「一発二錠」を搭載した自転車・電動アシスト自転車（販売：ブリヂストンサイクル株式会社）	https://www.bscycle.co.jp/pdf/important_20190624.pdf	2003年9月 ～ 2015年5月	3, 164, 913
ハンドルロック「一発二錠」を搭載した電動アシスト自転車（販売：ヤマハ発動機株式会社）	https://www.yamaha-motor.co.jp/recall/pas/2019-06-24/pdf/2019-06-24_list.pdf	2004年10月 ～ 2015年1月	266, 225
合 計			3, 431, 138

2019年（令和元年）6月24日からリコール（無償点検・改修）を実施
改修率：0.3%（2019年9月19日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（原因調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2019年度	25	重傷	2014年度	0	—
2018年度	1	重傷	2013年度	0	—
2017年度	2	重傷	2012年度	0	—
2016年度	0	—	2011年度	0	—
2015年度	0	—	2010年度	0	—

※当該事故（管理番号：A201900788、A201900794）は含まない。

<対象製品の外観及び確認方法>

ハンドルロック「一発二錠」の表示窓のラベルの色を御確認ください。

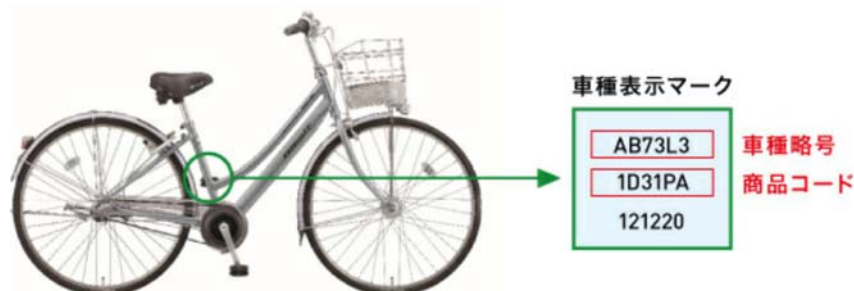
表示窓のラベルが「黒色ラベル」は対象製品となり、「白色ラベル」は対象外製品となります。



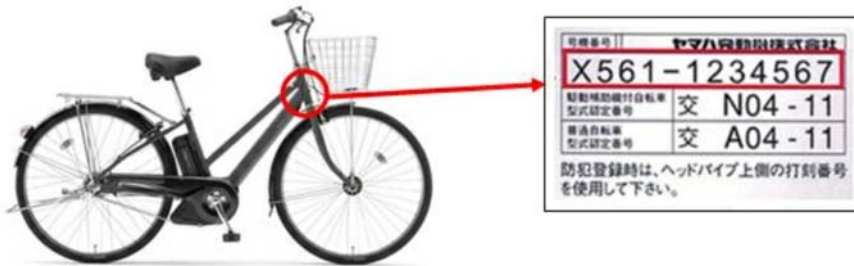
<車両情報の確認方法>

お問い合わせいただく際に必要となりますので、事前に御確認ください。

○ブリヂストンサイクルブランドの場合



○ヤマハ発動機ブランドの場合



④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちの方で、ハンドルロックのケースが破損しているなど、異常が確認された場合は、直ちに使用を中止してください。なお、事業者は無償点検及び改修を実施していますので、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

ブリヂストンサイクル株式会社

「一発二錠」無償点検・改修お客様コールセンター

電話 番 号：0120(502)092

受 付 時 間：9時～18時（毎日）

ウェブサイト：<https://www.bscycle.co.jp/info/2019/6624>

ヤマハ発動機株式会社

「一発二錠」無償点検・改修お客様コールセンター

電話 番 号：0120(801)309

受 付 時 間：10時～12時30分、13時30分～18時

（土・日・祝日・事業者指定休日を除く。）

ウェブサイト：<https://www.yamaha-motor.co.jp/recall/pas/2019-06-24/>

(4) ブリヂストンサイクル株式会社が製造した電動アシスト自転車について
(管理番号：A201900790)

①事象について

ブリヂストンサイクル株式会社（法人番号：9030001041957）が製造した電動アシスト自転車から降りようとしたところ、モーターが止まらず自走し、転倒、膝を負傷する事故が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコール（無償点検・無償部品交換）について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、搭載された電動部品の内部の摩耗又は部品取付けはんだに亀裂が入る不良により、ペダルの踏み力が誤って検知され、人がペダルを踏んでいないにもかかわらず、モーターの駆動力が数秒間継続するため、事故に至るおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、2007年（平成19年）5月15日にウェブサイト情報を掲載し、翌16日に新聞社告の掲載を行うとともに、同社及び販売店からダイレクトメールの送付、使用者への電話連絡、バッテリー交換時における改修の案内、販売店店頭掲示用ポスターを配布し、注意喚起を行い、対象製品について無償点検及び無償部品交換を実施しています。

また、当該電動部品を搭載し、別ブランドで販売しているヤマハ発動機株式会社及び宮田工業株式会社も無償点検及び無償部品交換を実施しています。

なお、今般報告のあった当該事故（管理番号：A201900790）が上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

③対象製品：型式、製造ロット、製造期間、対象台数
(ブリヂストンサイクル株式会社)

型式	製造ロット（下5桁）	製造期間	対象台数
A12	10101～30228	2001年1月 ～ 2003年2月	20,375
A13			44,809
A14			600
A15			6,775
A16			5,175
A17			1,825
合 計			79,559

(ヤマハ発動機株式会社)

型式	製造期間	対象台数
X 101	2001年1月 ～ 2003年2月	58, 422
X 102		21, 740
X 121		5, 020
X 131		6, 480
X 132		3, 970
X 151		23, 971
X 152		9, 079
X 171		300
合 計		128, 982

(宮田工業株式会社)

型式	製造期間	対象台数
VU402C、VU422C、VAU202C、 VAU422D、VU602C、VU622C、 VAU402C、VAU622D、VU402D、 VU422D、VAU602C、VAU4021C、 VU602D、VU622D、VAU202D、 VAU6021C、VU4021C、VU4021N、 VAU402D、VAF602C、VU6021C、 VU6021N、VAU602D、VAF602D、 VU4021D、VSU403F、VAU422C、 VAF6021C、VU6021D、VSU603F、 VAU622C、VAU402N、VAU602N	2001年1月 ～ 2002年12月	12,817

対象台数（3社合計）：221,358台

2007年（平成19年）5月15日からリコール（無償点検・無償部品交換）を実施

改修率：59.5%（2019年9月30日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（原因調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2019年度	1	重傷	2014年度	0	—
2018年度	0	—	2013年度	0	—
2017年度	0	—	2012年度	0	—
2016年度	0	—	2011年度	1	重傷
2015年度	0	—	2010年度	2	重傷

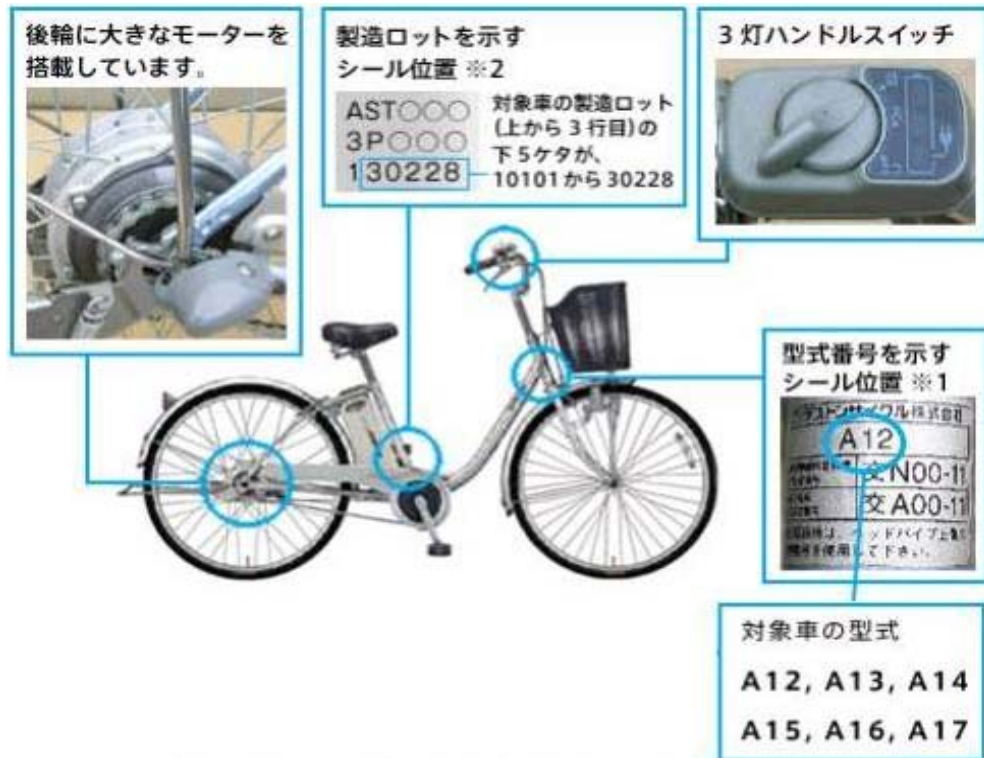
※当該事故（管理番号：A201900790）は含まない。

＜対象製品の確認方法＞

(ブリヂストンサイクル株式会社)

対象製品の特徴：

- (1) 後輪モーター型ドライブユニットは、後輪に大きなモーターを搭載しています。
- (2) 手元スイッチは、ハンドルスイッチの赤いランプが3灯式になっています(4灯式スイッチのモデルは対象外です)。



＜2001年～2003年2月までに製造された電動ハイブリッド自転車です。＞

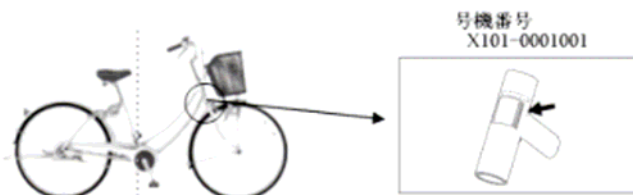
(ヤマハ発動機株式会社)

ヤマハ発動機(株) 対象製品外観等

【ヤマハPASスマイル シリーズ外観】



【製品号機番号確認位置】

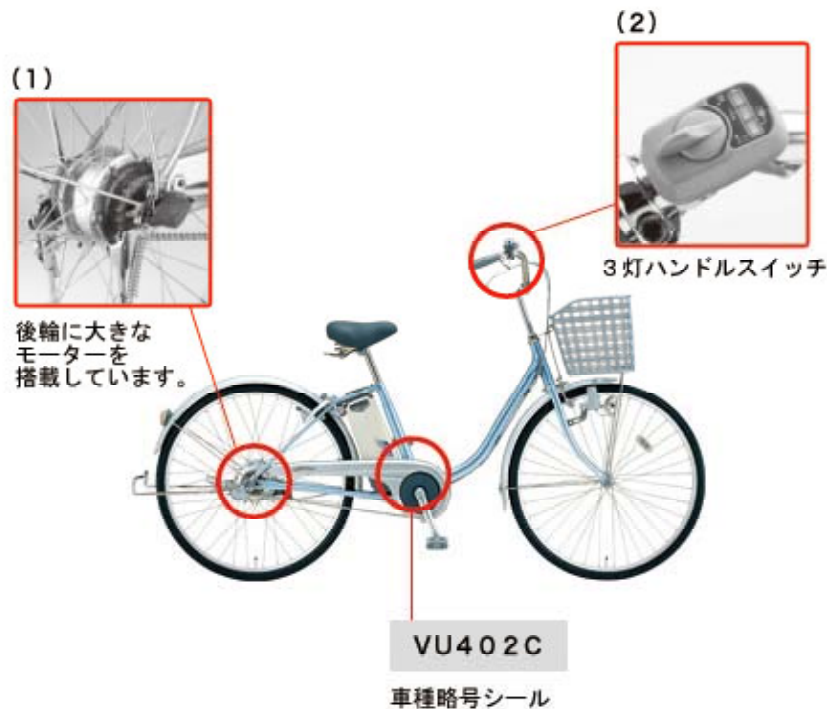


(宮田工業株式会社)

フレーム立パイプ下側に貼付してあるシールにて車種略号(型式)を上記表にて御確認ください。

対象製品の特徴：

- (1) 後輪モーター型ドライブユニットは、後輪に大きなモーターを搭載しています。
- (2) 手元スイッチは、ハンドルスイッチの赤いランプが3灯式になっています(4灯式スイッチのモデルは対象外です)。



④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検及び無償部品交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

ブリヂストンサイクル株式会社

電話番号：0120 (937) 851

受付時間：9時～17時(土・日・祝日・事業者指定休日を除く。)

ウェブサイト：<https://www.bscycle.co.jp/info/2007/214>

ヤマハ発動機株式会社

電話番号：0120 (090) 819

受付時間：9時～12時、13時～17時

(土・日・祝日・事業者指定休日を除く。)

ウェブサイト：

<https://www.yamaha-motor.co.jp/recall/pas/2007-05-15/index.html>

宮田工業株式会社

電話番号：0120 (851) 346

受付時間：9時～17時(土・日・祝日・事業者指定休日を除く。)

ウェブサイト：<http://www.miyatabike.com/topics/070515.html>

【本発表資料の問合せ先】

消費者庁消費者安全課（製品事故情報担当）

担 当：鈴木、柳川、牧野

電 話：03(3507)9204（直通）

F A X：03(3507)9290

経済産業省産業保安グループ製品安全課製品事故対策室

担 当：橋爪、大江

電 話：03(3501)1707（直通）

F A X：03(3501)2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201900787	令和元年10月14日	令和元年11月12日	ガスコンビネーションレンジ(都市ガス用)	GMO-S3600(株式会社ハーマンブランド:型式DR-405E)	テガ三洋工業株式会社(現 三洋テクノリレーションズ鳥取株式会社)(株式会社ハーマンブランド)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	群馬県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和元年10月31日

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201800511	平成30年11月19日	平成30年11月30日	電子レンジ	JM-17F-50	ハイアールジャパンセールス株式会社(輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品の庫内を焼損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は、タイマーモーターとギヤの連動に不具合が生じて、タイマーの動作が止まり、連続運転となって庫内の調理物が過熱し焼損したものと考えられるが、タイマーが動作停止した原因の特定には至らなかった。 なお、当該製品のタイマーの不具合を認識しながら使用を継続し、使用中にその場を離れてしまったことも事故発生に影響したものと考えられる。	埼玉県	平成30年12月4日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A201900021	平成31年2月9日	平成31年4月8日	自転車	2015年度 PALETTE	株式会社アキボウ(輸入事業者)	重傷 1名	当該製品で走行中、前ホークが破断し、転倒、負傷した。 調査の結果、当該製品は、使用中に前ホークのクラウン部後方から亀裂が発生し、その後の継続使用により亀裂が前方に進展し、事故発生時に前方向へ一気に破断したものと推定されるが、前方からの衝撃による変形等が認められず、亀裂が生じた原因の特定には至らなかった。	東京都	平成31年4月12日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの 平成30年10月9日からリコールを実施(特記事項を参照) 回収率: 6.0%
A201900784	平成24年5月12日	令和元年11月11日	自転車用幼児座席	RCS-NRX	ブリヂストンサイクル株式会社(輸入事業者)	重傷 1名	幼児(6歳)を当該製品に乗せて自転車で走行中、右側足乗せ部が破損し、幼児の右足が後ホークと後輪の間に巻き込まれ、負傷した。 事故の原因は、使用中に繰り返される負荷により足乗せ部の取付部板が破損し、足乗せ部分が外れ、事故の発生に至ったものと考えられる。	兵庫県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和元年8月報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し厳重注意 平成22年9月21日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率: 50.0%

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201900788	平成31年4月8日	令和元年11月12日	電動アシスト自転車	A6L80	ブリヂストンサイクル株式会社	重傷1名	当該製品で走行中、ハンドルがロックし、転倒、右膝を負傷した。 事故の原因は、現在、調査中であるが、「一発二錠」を搭載した電動アシスト自転車で、ハンドルロックのケースの破損などが原因で錠が誤作動し、走行時にハンドル操作ができなくなったものと考えられる。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは令和元年4月16日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し 厳重注意 令和元年6月24日からリコールを実施 (特記事項を参照) 改修率:0.3%
A201900790	平成20年10月7日	令和元年11月12日	電動アシスト自転車	AF40	ブリヂストンサイクル株式会社	重傷1名	当該製品から降りようとしたところ、モーターが止まらず自走し、転倒、膝を負傷した。現在、原因を調査中。	大阪府	事業者が重大製品事故として認識したのは平成20年10月31日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し 厳重注意 平成19年5月15日からリコールを実施 (特記事項を参照) 改修率59.5%
A201900794	令和元年6月20日	令和元年11月12日	自転車	JB73TP	ブリヂストンサイクル株式会社	重傷1名	当該製品で走行中、ハンドルがロックし、転倒、負傷した。 事故の原因は、現在、調査中であるが、「一発二錠」を搭載した自転車で、ハンドルロックのケースの破損などが原因で錠が誤作動し、走行時にハンドル操作ができなくなったものと考えられる。	埼玉県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和元年10月25日 令和元年6月24日からリコールを実施 (特記事項を参照) 改修率:0.3%

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201900783	平成22年11月23日	令和元年11月11日	自転車用幼児座席	重傷1名	子供を当該製品に乗せて自転車で走行中、子供の右足が後輪に巻き込まれ、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは平成22年11月29日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し 嚴重注意
A201900785	令和元年8月17日	令和元年11月12日	自転車	重傷1名	当該製品で走行中、転倒し、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは令和元年10月30日
A201900786	平成26年2月26日	令和元年11月12日	自転車	重傷1名	当該製品で走行中、転倒し、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは令和元年10月30日
A201900789	平成27年3月12日	令和元年11月12日	自転車	重傷1名	当該製品で走行中、ブレーキを掛けたところ、ハンドルが回り、転倒、負傷した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	大阪府	事業者が重大製品事故として認識したのは平成27年3月18日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し 嚴重注意
A201900791	平成27年5月11日	令和元年11月12日	自転車	重傷1名	当該製品で走行中、サドルが脱落し、転倒、臀部を負傷した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	千葉県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成27年6月23日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し 嚴重注意
A201900792	令和元年10月6日	令和元年11月12日	オーブントースター	火災 死亡1名	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が死亡した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和元年11月8日
A201900793	令和元年5月15日	令和元年11月12日	運動補助具	重傷1名	施設で当該製品を使用した数日後、体調が悪くなり、病院で受診したところ、負傷が確認された。当該製品との因果関係を含め、現在、原因を調査中。	群馬県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和元年10月21日

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201900795	令和元年5月13日	令和元年11月12日	電動アシスト自転車	重傷1名	当該製品で走行中、ブレーキを掛けたところ、ブレーキレバーとハンドルバーの隙間に右手指を挟み、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	大阪府	事業者が重大製品事故として認識したのは令和元年10月25日
A201900796	令和元年7月22日	令和元年11月12日	電動アシスト自転車	重傷1名	当該製品で走行中、ハンドルがロックし、転倒、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは令和元年10月28日
A201900797	平成31年4月23日	令和元年11月12日	電動アシスト自転車	重傷1名	使用者(80歳代)が当該製品で走行中、転倒し、腰を負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	群馬県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和元年10月30日
A201900798	令和元年11月3日	令和元年11月12日	リチウム電池内蔵充電器	火災	施設で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201900799	令和元年10月	令和元年11月12日	テレビゲーム機	火災	当該製品を溶融し、周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	岡山県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和元年11月1日
A201900800	令和元年11月1日	令和元年11月13日	照明器具	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	東京都	製造から35年以上経過した製品
A201900801	令和元年11月3日	令和元年11月13日	照明器具(卓上型、充電式)	火災	店舗で当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	島根県	令和元年11月14日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201900802	令和元年11月4日	令和元年11月13日	エアコン(室外機)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	愛知県	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、消費者庁製品事故情報検討会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会において審議を予定している案件

該当案件なし

電子レンジ（管理番号:A201800511）

